

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」、自治体が
勤めるまちの逸品部門で、優秀賞に選ばれました



プレミアムな温もりと肌触り シルクの潤いに包まれる贅沢



リラックスした時間を過ごすとき、その身体を優しく包んでくれるものは、心地よく安らげるものであって欲しい。たとえば、このシルクリビングケットのように。驚くほど軽く、ふっくら温かい。そして頬ずりしたくなるほど、なめらかな肌触り。この秘密は起毛技術にある。国産毛布の90%を占める産地・泉州で、起毛ならこと誇高い「瀧芳」が、技術の粋を集結させてつくりあげている。起毛は、生地表面を無数の針が付いたローラーで掻いて毛羽立たせること。柔らかな風合いを出すために、針を新しい物だけにせず、4年物、6年物といった古い針を混ぜるなど工夫が凝らされている。起毛後は、毛羽立ちをカットして整えるシャーリングをおこない、生地を蒸してふっくらさせるが、完璧な仕上がりになるまで職人が起毛～シャーリングの工程を何度も繰り返す。シルクの中でも高級な細番手の糸に起毛加工を施し、繊細なやわらかさと、まるで空気のような軽さを実現している。カンミアと同レベルの温かさをもち、吸水性・発散性に優れたケット、夢見心地にさせるシルクの感触に、いつまでもくまれていたくなる。

シルクリビングケット

瀧芳株式会社
<http://takiyoshi.jp/>



ホワイト、グレー、ブラウン、グリーン、2種類のレッドの全6色。シルク製品は白や生成りが多いが、ソファで使用することを想定して、インテリアとしての見栄えのいいカラフルな赤も用意されている。

家庭用・オフィス用・作業用に幅広く愛され
海外のユーザー様にも支持いただいています

TOPICS



体の動きに合わせて座面が 前後左右にスイング

日常生活で、誰もが意識せずにおこなっている「座る」という行動。座る＝休む、という印象もあるが、椅子に座っての長時間の作業は、体への負担も大きく、ともすれば生産性も低下させる。ワークチェアという働く現場での「座る」を追求してきたルネセイコウが、そのノウハウを生かして女性向けに設計したのがこの「ミス・ラフレシア」だ。座ってみると、その心地良い揺れに驚く。支柱の部分には自社開発のサスペンション機能を使った、「スイングシート機能」を応用。スツール自体が、常に動く人体の負荷に合わせて前後左右に7度傾斜する。構造を研究し尽くしているから生まれた、「疲れにくくするには、椅子も人の動きに合わせて動けばいい」という発想。これにより、キッチン作業やアイロンがけ、パソコンワークや趣味の時間など、家庭のさまざまなシーンで姿勢を自由に変えられ、作業効率もアップする。愛らしい花の形をした座面は、骨盤の形状に合わせてウレタンの量を最適化。座り続けても疲れにくく、心地よく体を支えてくれるのが体感できる。

ミス・ラフレシア

有限会社ルネセイコウ
<http://runeseikou.com/>



座面カラーはグリーン・ブラウン・赤・アイボリー・黒。ガスシリンダーにより高さは420～550mmまで調整可能。台座に貼られた「MADE IN JAPAN OSAKA」の文字からは、戦後間もない時代から椅子・家具をつくり続けてきた誇りが感じられる。



ものづくりの想いを伝えたい。
27年度大阪製ブランド認証製品をご紹介します。



卓上を飾る、本物の切れ味 堺で鍛えた、モダンデザイン

わずか75mmの刃の中に、鍛冶や研ぎといった堺刃物の技術が凝縮されている。それは火と鉄と水と人の巧がなす、絶妙の切れ味。古くから分業制が確立している堺の包丁づくりは、鍛冶、研ぎ(刃付け)、柄付けがそれぞれに研鑽を積み、食材がより美しく、より切り口が綺麗になるように切磋琢磨し合い、一本の包丁をつくりあげてきた。料理人の多くが堺刃物を広く支持しているのは、永い間に築かれた堺刃物に対する信頼の証だ。そんな伝統的工芸品「堺打刃物」をつくる森本刃物製作所が、デザイナーと共同開発した「紙切包丁」(ペーパーナイフ)。堺打刃物の伝統工芸士が和包丁と同じ工程で仕上げ、さらに大阪浪華鋳器と大阪唐木指物の職人とのコラボを実現。堺打刃物×錫×紫檀の柄という、大阪の3つの伝統工芸を組み合わせた貴重なものとなった。これをアクリル台に飾り、卓上で堺打刃物の最高級の切れ味と、完成された美しさを楽しむことができる。デスクの上に「本物の仕事」がある、それは極上の幸せ。美しい模様が出るよう鍛錬し、研ぎ上げた匠の技を身近に感じて、その切れ味をぜひ堪能して欲しい。

紙切包丁

森本刃物製作所
<http://www.morimotohamono.com/>



記念品として人気があり、材料など仕入先の
協力のもと、生産数も増えています

TOPICS

ANSWERSOAP® シリーズから、持ち運びに便利な
トラベルサイズが登場。旅行や出張に大活躍です!

TOPICS



男性の悩みを洗い流し、 優しい香りを身にまとう

誰でも胸の奥に必ず一つや二つは抱えている「コンプレックス」。こと男性の悩みにフォーカスを当てた石鹸がある。この石鹸をつくった、大阪エース「COCOON」の小川カオリさん自身も、肌トラブルの経験を持つひとり。だからこそ肌の悩みから解放し、本来の輝きや自信を取り戻すために、専用のケア製品をつくり続けている。そもそもひげ剃りや、乾燥、日焼けのダメージ、皮脂分泌の多い男性の肌こそ、スキンケアが必要だ。この「ANSWERSOAP」では、ニオイ、オイリースキン、アンチエイジングという男性の3つの悩みに応える。原料は自然素材を厳選し、コールドプロセス製法で40日間熟成。余分な熱を加えずに低温でじっくりつくるため、自然の恵みを最大限に生かした、肌に優しい極上の使い心地を約束。石鹸とそれを包むパッケージは、願いを叶える絵馬をモチーフにした五角形。石鹸にはレイヤーやマーブルの美しい模様が入られ、使用後もこの模様を保つため、バスルームに置いてもおしゃれな存在感を放つ。コンプレックスから解き放つだけでなく、使う人の美意識まで変えてくれる。

ANSWERSOAP

株式会社大阪エース
<http://cocoon-soap.com/index.html>



ひとつひとつ丁寧に手づくりされる石鹸は、極上の洗い上がりで愛用者が増え続けている。直営店に來られない近隣のお客さんのために、一昨年秋から移動販売車「COCOON号」による出張販売も開始した。

Access



Published

MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課

Staff

チーフエディター	浅野 由裕 (株式会社ファイコム)
エディター	阪本 聡子 (株式会社ファイコム)
アートディレクション・デザイン	前田 敏幸 (株式会社ファイコム)
アシスタントデザイナー	斎藤 友加里 (株式会社ファイコム)
フォトグラファー	北尾 浩幸
ライター	町田 佳子
プリンティングディレクター	野村 いずみ (有限会社山添)